（別記）

令和８年度草津市農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本市は、湖辺を中心とした穀倉地帯において集落営農や担い手を中心に麦、大豆の栽培が行われている。また、都市近郊という立地特性を活かした野菜の施設園芸なども盛んであり、草津市の花である「アオバナ」をはじめ、「草津メロン」や「愛彩菜」、「琵琶湖元気アスパラ」、「琵琶湖からすま蓮根」といった、特産品づくりも進められており、「山田ねずみ大根」といった伝統野菜も作付されている。水田を活用した高収益作物の取組が広がりつつあり、野菜等の作付を積極的に促進している。

一方で、多くの大規模開発等により農地が減少していることや、農業者の高齢化や後継者不足により農家数が減少していることなどから、安定した農業経営が行いにくい状況にある。

２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

本市では、「アオバナ」をはじめ、「草津メロン」や「愛彩菜」、「琵琶湖元気アスパラ」、「琵琶湖からすま蓮根」といった特産品に対し、草津ブランド推進協議会が草津らしさを持つ「草津ブランド」として認証し、付加価値の向上に努めている。

また、県、ＪＡ、市が連携し、水田における高収益作物の作付促進に向けて取り組んでおり、近年、その取組が広がりつつある。

今後も、引き続き「草津ブランド」としてＰＲに努めるなど、特産物の付加価値向上に向けた取組や、関係機関と連携した高収益作物の作付促進の取組を行うとともに、産地交付金を活用した高収益作物等の作付促進に取り組む。

３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

本市は、大規模なビニールハウス群を擁し、都市近郊という立地特性を活かした野菜の施設園芸が盛んであり、水田の有効活用が積極的に行われている。

この状況を踏まえ、近年の作付体系を踏まえながら、畑地化が見込まれる農地について、産地交付金や水田農業高収益化推進助成など、各種制度を周知し、畑地化の推進に取り組む。

また、本市では、今後、基盤整備事業を予定している地域もあり、当該基盤整備事業の中で、高収益作物の積極的な作付を計画に位置付けるとともに、畑地化の検討も行う。水田の利用状況の点検方針については、農業者からの申告をもとに現地確認を行い、点検結果を踏まえて、戦略作物の本作化や高収益作物の導入・定着を支援する。

４　作物ごとの取組方針等

（１）主食用米

生産の目安に沿った作付面積を確保する。

（２）備蓄米

需要に応じて取組等検討を進める。

（３）非主食用米

ア　飼料用米

需要に応じた生産数量を確保するとともに、水田のフル活用を図るため、麦、大豆の作付に適さない地域を中心に作付を促進する。

イ　米粉用米

需要に応じて取組等検討を進める。

ウ　新市場開拓用米

需要に応じて取組等検討を進める。

エ　WCS 用稲

需要に応じて取組等検討を進める。

オ　加工用米

需要に応じた生産数量を確保するとともに、水田のフル活用を図るため、麦、大豆の作付に適さない地域を中心に作付を促進する。

（４）麦、大豆、飼料作物

担い手育成の推進と担い手への農用地利用集積を行い、ブロックローテーションによる団地化等を推進し生産数量を確保する。また、二毛作大豆を推奨し、助成を行っていく。

（５）そば、なたね

需要に応じて取組等検討を進める。

（６）地力増進作物

需要に応じて取組等検討を進める。

（７）高収益作物

施設園芸が盛んであり、「ほうれんそう」、「みずな」等の作付けや、「草津メロン」や「愛彩菜」、「山田ねずみ大根」、「琵琶湖元気アスパラ」、「琵琶湖からすま蓮根」といった本市独自の特産品の作付を促進する。

５　作物ごとの作付予定面積等　～　８　産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

別紙

５ 作物ごとの作付予定面積等

（単位:ha）

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和８年度の作付目標面積等	
		うち二毛作		うち二毛作		うち二毛作
主食用米	754.4	0	774.1	0.0	713.0	0.0
備蓄米	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
飼料用米	0.5	0	0.5	0.0	3.6	0.0
米粉用米	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
新市場開拓用米	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
WCS用稲	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
加工用米	0	0	12.3	0.0	22.3	0.0
麦	169	0.7	137.0	0.7	175.3	0.9
大豆	171.4	157.8	139.4	137.8	176.2	169.2
飼料作物	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
・子実用とうもろこし	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
そば	0	0	0.0	0.0	0.3	0.0
なたね	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
地力増進作物	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
高収益作物	70.9	5.8	72.5	5.8	79.2	13.5
・野菜	67.3	5.2	67.3	3.9	72.5	8.9
・花き・花木	0.8	0	0.8	0.0	1.5	0.0
・果樹	1.9	0	1.9	0.0	0.0	0.0
・その他の高収益作物	0.9	0.6	2.5	1.9	5.2	4.6
その他	0	0	0.0	0.0	0.1	0.0
・	0	0	0.0	0.0	0.1	0.0
畑地化	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0

６ 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	地域特産物 （基幹）	地域特産物推進助成 （基幹）	地域特産物（基幹） 作付面積拡大	（R7年度） 3.2ha	（R8年度） 3.3ha
2	野菜・花卉 （基幹）	野菜・花卉助成 （基幹）	野菜・花卉（基幹） 作付面積拡大	（R7年度） 38.7ha	（R8年度） 46.0ha
3	野菜・花卉 （二毛作）	野菜・花卉助成 （二毛作）	野菜・花卉（二毛作） 作付面積拡大	（R7年度） 5.2ha	（R8年度） 4.0ha
4	水田活用米穀 （非主食用米）	水田活用米穀助成	水田活用米穀（非主食用米） 作付面積拡大	（R7年度） 0.5ha	（R8年度） 44.0ha
5	大豆 （二毛作）	担い手大豆助成 （二毛作）	大豆（二毛作） 作付面積拡大	（R7年度） 157.8ha	（R8年度） 210.0ha
6	黒大豆・そば・雑穀類 （基幹）	黒大豆・そば・雑穀類助成 （基幹）	黒大豆・そば・雑穀類（基幹） 作付面積拡大	（R7年度） 0ha	（R8年度） 0.3ha
7	黒大豆・そば・雑穀類 （二毛作）	黒大豆・そば・雑穀類助成 （二毛作）	黒大豆・そば・雑穀類（二毛作） 作付面積拡大	（R7年度） 0.6ha	（R8年度） 2.0ha

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※　目標期間は３年以内としてください。

7　産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：滋賀県

協議会名：草津市農業再生協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 （円/10a）	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	地域特産物推進助成（基幹）	1	20,000	（別表）一覧・分類表のとおり	（別表）一覧・分類表に定める地域特産品目の作付け等
2	野菜・花卉助成（基幹）	1	6,000	（別表）一覧・分類表のとおり	（別表）一覧・分類表に定める野菜・花卉の作付け等
3	野菜・花卉助成（二毛作）	2	10,000	（別表）一覧・分類表のとおり	（別表）一覧・分類表に定める野菜・花卉の作付け等
4	水田活用米穀助成	1	1,000	（別表）一覧・分類表のとおり	加工用米、新規需要米の作付け等
5	担い手大豆助成（二毛作）	2	1,000	（別表）一覧・分類表のとおり	地域計画の目標地図に位置付けられた者、大豆（二毛作）の作付け等
6	黒大豆・そば・雑穀類助成（基幹）	1	3,000	（別表）一覧・分類表のとおり	（別表）一覧・分類表に定める黒大豆・そば・雑穀類の作付け等
7	黒大豆・そば・雑穀類助成（二毛作）	2	9,000	（別表）一覧・分類表のとおり	（別表）一覧・分類表に定める黒大豆・そば・雑穀類の作付け等

※1　二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携）」と記入してください。
　ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
　なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。
※2　「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3　産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4　産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

草津市産地交付金対象作物名一覧・分類表

野菜	
果菜類	ニラ
青さやいんげん	ねぎ
あおとう	はくさい
いちご	パセリ
うり類	花菜
えだまめ	日野菜
エンドウ豆	ふき
オクラ	ほうれんそう
かぼちゃ	マコモダケ
カリフラワー	みずな
キヌサヤ	みつば
きゅうり	みぶ菜
グリンピース	みょうが
ゴーヤ	モロヘイヤ
ササゲ	レタス
ししとう	わけぎ
すいか	根菜類
ズッキーニ	エシャロット
そらまめ	大蕪
とうがらし	かぶ
とうもろこし	きくいも
トマト	きのこ類
なす	くわい
ピーマン	ごぼう
ブロッコリー	こまつな
ミニトマト	さつまいも
葉菜類	さといも
青菜	じゃがいも
ウド	しょうが
キャベツ	ずいき
サニーレタス	すぐき
サラダ菜	だいこん
しそ	たまねぎ
しゅんぎく	にんじん
食用菊	にんにく
セリ	ばれいしょ
セルリー	ヤーコン
そば菜	やまいも
ちんげん菜	山田ねずみ大根
漬け菜	らっきょう
菜の花	ラディッシュ

花き	
アスター	ローダンセ
カーネーション	ワレモコウ
カーベラ	切り花類
カーラー	
かすみそう	
キキョウ	
きく	
キンギョソウ	
キンセンカ	
ケイトウ	
小ぎく	
コケ	
コスモス	
ゴテチャ	
しきみ	
シクラメン	
しば	
スターチス	
ストック	
ストレッチア	
センニチコウ	
チドリソウ	
チューリップ	
ダリア	
トルコキキョウ	
なでしこ	
なばな	
ハス	
葉ボタン	
バラ	
パンジー	
ひまわり	
百日草	
フリージア	
べに花	
ほおずき	
マリーゴールド	
やぐるまそう	
ユリ	
ラン	
リアトリス	

雑穀
小豆
あわ
えごま
きび
ごま
ハトムギ
ひえ
らっかせい

水田活用米穀
水田活用米穀 （加工米等非主食用米）

地域特産物
特用あおばな
アスパラガス
メロン
愛彩菜(わさび菜)
れんこん